

2024年度  
関西大学博物館

# ミュージアム 講座

## 歴史研究と現代の博物館の役割

2024年4月に関西大学博物館は開設30周年を迎えました。この節目を記念して、関西大学博物館開設30周年記念ミュージアム講座を開催します。歴史研究の第一線で活躍しておられる本学ご出身の講師をお招きし、これまでの研究について、またその成果を発信する手段としての展示、さらに博物館での取り組みとその社会的意義を考え、現代の博物館が抱える問題点などについてお話しいたします。

### 大学共同機関と博物館展示

—国立歴史民俗博物館を例として—

国立歴史民俗博物館研究部教授 林部 均氏

### 博物館の役割と力量

—歴史学の基礎体力と社会の成熟度—

京都大学人文科学研究所所長・教授 岩城卓二氏

#### <プログラム>

14:40～14:50 開会あいさつ  
14:50～15:50 【講演1】林部均氏  
15:50～16:00 休憩  
16:00～17:00 【講演2】岩城卓二氏  
17:00 終了

# 9.21(土)

時間:14:40～17:00(14:00開場)  
会場:関西大学博物館(千里山キャンパス内)  
定員:50名(申込先着順)  
参加費:無料  
申込方法:2次元コードまたは関西大学博物館HPのお知らせから。9月1日より受付。

**受講料無料**

お申し込みはこちらから→  
博物館ホームページからも可能



関西大学博物館  
Kansai University Museum





## 大学共同機関と博物館展示 —国立歴史民俗博物館を例として—

国立歴史民俗博物館の総合展示・企画展示が、どのように構築されるのかを簡単に紹介し、その展示の特徴を解説します。あわせて、博物館をもつ大学共同利用機関(とくに歴博)の活動(研究・展示など)にかかわる課題を述べて、博物館展示の将来像を模索したいと思います。

### ■主要著書

『古代宮都形成過程の研究』青木書店 2001年  
『飛鳥の宮と藤原京—よみがえる古代王宮—』  
吉川弘文館 2008年  
『古代における都城の成立と展開』『日本史の現在 1  
考古』山川出版社 2024年

国立歴史民俗博物館研究部教授  
林部 均氏  
HAYASHIBE Hitoshi

## 博物館の役割と力量

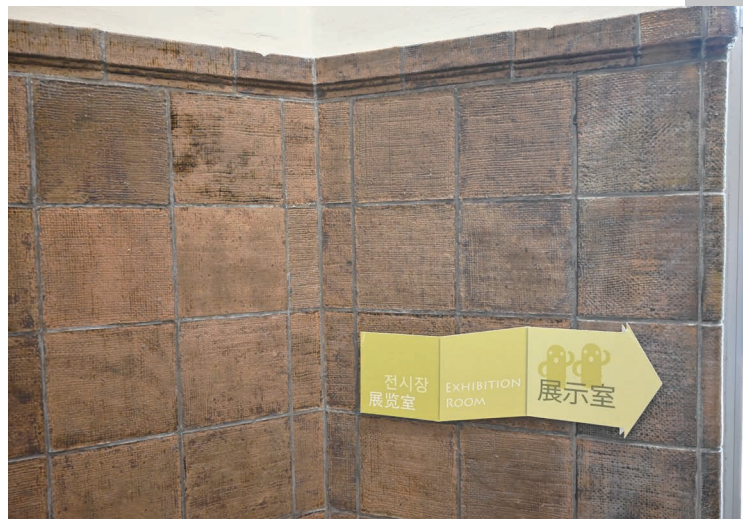
### —歴史学の基礎体力と社会の成熟度—

個人や地域社会で保存されてきた資料の管理・収集・調査・研究を担い、その成果を社会に発信する歴史系博物館は、歴史学研究の基礎体力や、市民社会の成熟度を測る指標といえます。講演では、市民と研究者をつなぐ共創の場としての博物館の役割について、講演者の経験を踏まえてお話しします。

### ■主要著書

『近世畿内・近国支配の構造』柏書房 2006年  
『博物館と文化財の危機』人文書院 2020年(共編著)  
『環世界の人文』人文書院 2021年(共編著)

京都大学人文科学研究所所長・教授  
岩城卓二氏  
IWAKI Takuji



関西大学博物館開設30周年記念  
2024年度関西大学博物館 ミュージアム講座  
歴史研究と現代の博物館の役割

お申し込みは  
こちらから→  
博物館ホーム  
ページからも可能



関西大学博物館  
Kansai University Museum

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号  
TEL: 06-6368-1171 FAX: 06-6388-9928  
<https://www.kansai-u.ac.jp/Museum/>

【アクセス】 交通アクセス阪急電鉄梅田(大阪)駅から阪急千里線北千里行き乗車。十三・南方・淡路を経て「関大前」駅下車(約20分)。地下鉄堺筋線(阪急電車千里線相互乗り入れ)天下茶屋駅方面から日本橋・北浜・天神橋筋六丁目・淡路を経て「関大前」駅下車(約30分)。関大前駅北口から徒歩約10分。

